

Ⅱ 区がめざす将来像をお示します

～ 基本構想・おおた未来プラン 10年 ～

基本構想は、平成 20 年 10 月に区議会において議決され成立しました。この基本構想では、20 年後の区のあるべき姿として、将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」を掲げています。将来像は大田区の長期的なまちづくりの目標であり、区が行うすべての事業は、この将来像の実現に向け実施しています。

基本構想の議決を受け、平成 21 年 3 月に区の基本計画である「おおた未来プラン 10 年」を策定しました。未来プランに掲げる主な事業は、将来像を実現するために着実に推進しなければならないものであり、区は毎年その進捗状況を公表しています。

将来像が示すように、基本構想及び未来プランは「地域力」と「国際都市」を区政推進の理念として掲げています。社会経済状況が急速に変化し、価値観の多様化が進む中、地域の課題は複雑化しており、個人や行政の力だけでその解決を図ることは難しくなっています。区は、区民一人ひとりの力を源とする地域力を育て、発揮するためのお手伝いをし、その地域力を区政に活かすことで、地域課題の解決を図ってきました。特に防災分野では、東日本大震災における教訓から、地域力の結集を要とした「総合防災力強化」に取り組んでおり、大規模な被害が想定される首都直下地震をはじめとする災害に地域全体で立ち向かう態勢づくりを進めています。

また、国際都市として成熟したまちづくりの一環として、羽田空港の国際化を活かし、空港跡地での産業支援・文化交流拠点の形成を進めています。平成 23 年 12 月には国際戦略総合特別区域に、平成 26 年 5 月には国家戦略特別区域に指定されるなど、大田区の国際都市としてのポテンシャルは広く認められているところです。今後も、区内地域はもちろん日本全体の経済活性化に資する取り組みを推進していきます。

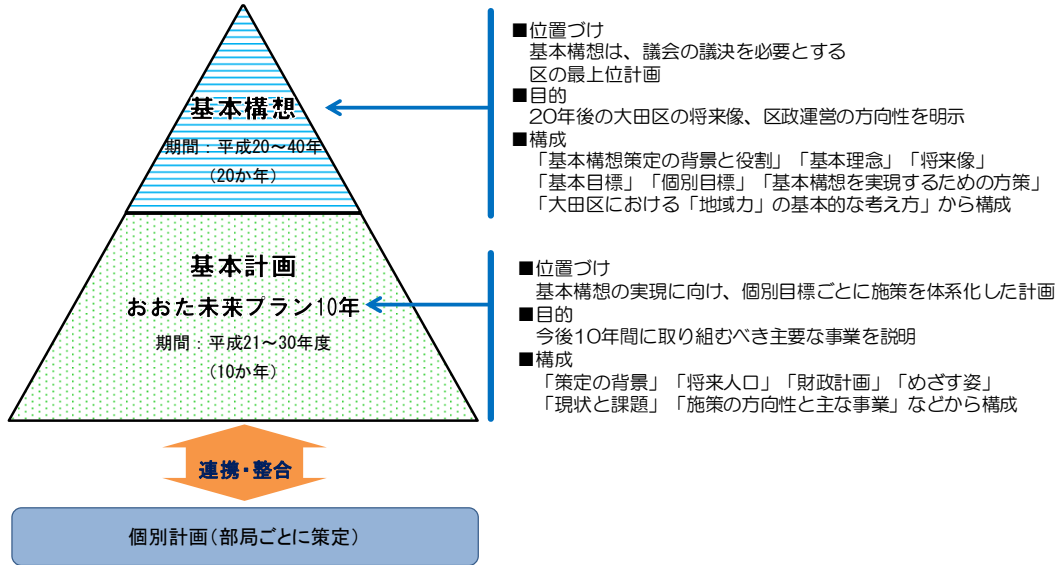
一方で、計画策定時からの区を取り巻く社会経済状況の変化は、新たな課題を区に呈しています。特に、少子高齢化への対応、首都直下地震への備えなど、区民の皆さまが安全・安心にいきいきと暮らしていくことができるよう、区は引き続き必要な行政サービスを確実に提供していく責務があります。

また、国と地方の間では地方分権改革に係る取り組みの結果、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」(第 1 次～第 4 次一括法)が制定され、住民により身近な基礎自治体への権限委譲などが進められてきました。直近では都区間において、児童相談所の移管に関する協議を行い、移管後の体制のあり方など具体的な検討を進めています。引き続き、地域の実情を熟知した地方政府である基礎自治体が、地域経営の主体であるという地方自治の本旨に則り、適切な事務権限及び財源の移譲を主張していくことが望めます。

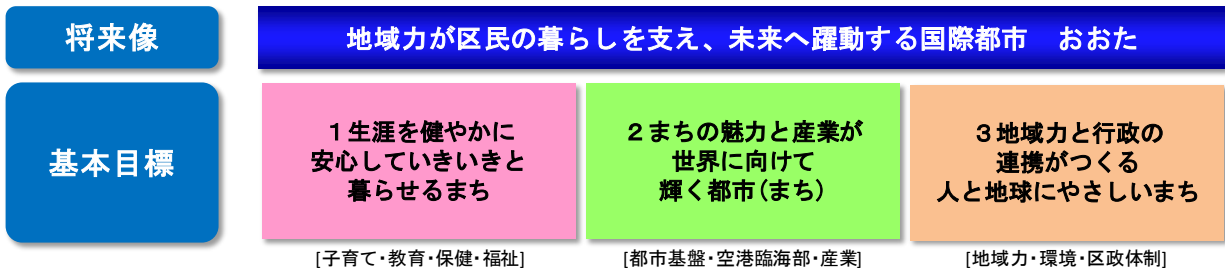
こうした様々な動きの中にあっても、区が施策を着実に推進し、区民の皆さまのニーズに応えるため、未来プランは策定当初から社会経済状況の変化への対応を見越し、10 か年の計画期間を、前期 5 年間、後期 5 年間に分けて計画化しています。平成 25 年度は前期の最終年にあたり、前期 5 年間の成果と課題を検証・整理し、必要に応じて施策の再構築を施した「おおた未来プラン 10 年(後期)」が平成 26 年 4 月からスタートしました。引き続き、「地域力」と「国際都市」を区政の推進力とし、将来像の実現に邁進していきます。

■大田区行政計画の体系

基本構想では 20 年後の将来像を提示しており、将来像を実現するための方向性として3つの基本目標を設定しています。区は、各部局で策定・実施する個別計画との連携・整合を図りながら、未来プランを着実に実施することで、「地域力・国際都市 おおた」をさらに推進します。

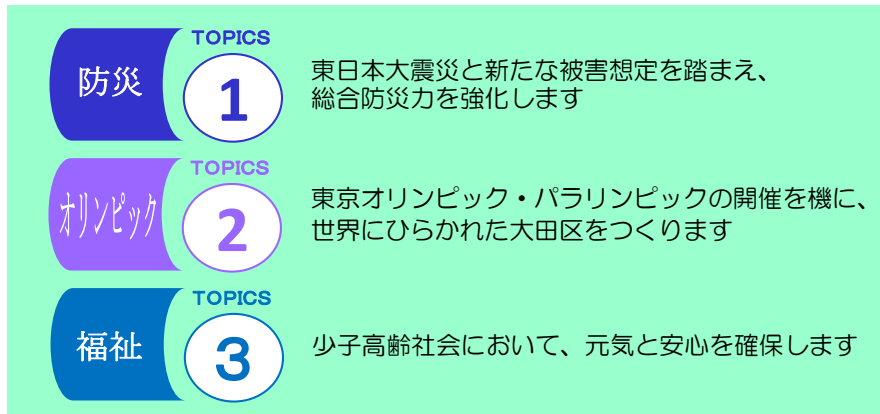


■基本構想で定めた区の将来像・基本目標



—TOPICS—

平成 26 年度よりスタートした、「おおた未来プラン 10 年（後期）」では、前期計画策定時には想定していなかったり、対応策が複数の施策にまたがる以下の3つのテーマについては「トピックス」として、取り組みを一覧にしています。



「地域力・国際都市 おおた」をめざした施策のイメージ

「地域力」が区民の暮らしを支える「おおた」をめざして



「未来へ躍動する国際都市 おおた」をめざして



■施策の達成度を測るモノサシ（指標）について

おおた未来プラン 10年(後期)には、大田区基本構想で示している3つの基本目標及び9つの個別目標に基づく、36の施策があります。それぞれの施策では「めざす姿」を示しており、そのめざす姿にどれだけ近づいたかを測る目安として、モノサシ（指標）を設定しています。各施策におけるモノサシ（指標）及びその最新値は以下のとおりです。

基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン 策定時の 「現状」	25年度時点 最新値	26年度	30年度
					最新値	目標値
1-1-1 安心して子どもを産めるまちをつくりま	1	【新規】 妊娠11週以内に妊娠届出をした割合(%)	86.8% (平成20年度)	91.5% (平成23年度)	92.9% (平成25年度)	100%
	2	すこやか赤ちゃん訪問事業の実施率(%)	61.5% (平成19年度 新生児訪問事業)	95.6% (平成24年度)	94.0% (平成25年度)	100%
1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくりま	3	保育所入所率(%)	96.9% (平成21.4.1) 保育サービス 定員 9,553人 (平成21.4.1)	96.3% (平成25.4.1) 保育サービス 定員 11,322人 (平成25.4.1)	95.2% (平成26.4.1)	100%
	4	ファミリーサポート延べ利用者数(人)	10,283人 (平成19年度)	10,819人 (平成24年度)	11,402人 (平成25年度)	12,200人
	5	子育て環境に対する満足度(%)	—	43% (平成25年度)	26年度未調査	50%
1-1-3 未来を担う子どもたちを育てま	6	大田区学習効果測定【中3数学・期待正答率を超えた生徒の割合】(%)	58.3% (平成20年度)	60.6% (平成25年度)	61.2%	62.0%
	7	不登校生徒出現率【中学校】(%)	3.73% (平成19年度)	3.05% (平成24年度)	3.25% (平成25年度)	2.88%
	8	【新規】 体力合計点【小6男女】(点)	男子 60.62点 女子 60.30点 (参考:平成23年度)	男子 60.21点 女子 60.15点 (平成25年度)	男子 60.57点 女子 60.56点 (平成26年度)	男子 61.01点 女子 61.59点
1-1-4 のびのびと成長する子どもを見守りま	9	児童館等ファミリールーム利用者数(人)	431,000人 (平成19年度)	455,569人 (平成24年度)	485,422人 (平成25年度)	463,000人
	10	【新規】 子ども家庭支援センターの相談件数(件)	4,290件 (平成20年度)	4,628件 (平成24年度)	(3,995人) (4~9月)	4,900件
1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくりま	11	【新規】 65歳健康寿命(歳)	男性 81.72歳 女性 84.84歳 (平成20年)	男性 81.68歳 女性 85.04歳 (平成23年)	男性 81.64歳 女性 85.06歳 (平成24年)	男性 82.26歳 女性 85.36歳
	12	特定健診受診率(%)	30% (平成20年度)	37% (平成24年度)	36.03% (平成25年度)	44%
1-2-2 ユニバーサルデザインのまちづくりを進めま	13	【新規】 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っている、または聞いたことがあると答えた区民の割合(%)	—	76.6% (平成24年度)	74.3% (平成26年度)	80%
	14	だれでもトイレの設置割合(%)	64.9% (平成20年度)	82.4% (平成25年度)	82.4%	95.9%

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン 策定時の 「現状」	25年度時点 最新値	26年度	30年度
					最新値	目標値
1-2-3 障がい者が地 域で安心して 暮らせるまち をつくりま す	15	障害福祉サービス等利用者の満足度(%)	60% (平成20年度)	58% (平成25年度)	26年度末に 最新値更新予定	75%
	16	就労支援ネットワークからの年間就職者数 (人)	50人 (平成20年度)	54人 (平成24年度)	73人 (平成25年度)	90人
1-2-4 生きがいと誇 りをもって暮 らせるまちを つくりま す	17	【新規】 区民1人あたりの図書館の貸出冊数(冊)	6.4点 (平成20年度)	8.0点 (平成24年度)	8.2点 (平成25年度)	10.4点
1-2-5 スポーツ健康 都市宣言にふ さわしい、ス ポーツを通じ て健康で豊か に暮らせるま ちをつくりま す	18	週1回以上スポーツ活動をしている区民の割 合(%)	36.6% (平成20年度)	41.2% (平成25年度)	43.7% (平成26年度)	65%
1-2-6 安定した暮ら しと人権を守 ります	19	職場における男女の地位が平等であると答え た区民の割合(%)	男性 16.7% 女性 10.0% (平成16年度)	男性 25.2% 女性 16.9% (平成24年度)	男性 24.0% 女性 16.8% (平成26年度)	男性 32% 女性 22%
※参考数値は、標題と一致していない設問により把握した数値、及びそれを基に設定した目標値です。						
1-3-1 高齢者がいき いきと暮らせ るまちをつ くりま す	20	ボランティアなど地域や地域の人を支える活 動に参加している高齢者の割合(%)	12.2% (平成20年度)	10.3% (平成24年度)	29年度 調査予定	15%
	21	何らかの収入を得る仕事をしている高齢者の 割合(%)	39.1% (平成20年度)	39.1% (平成24年度)	29年度 調査予定	45%
	22	【新規】 要介護認定を受けていない高齢者(65歳以上 75歳未満)の割合(%)	95.79% (平成20年度)	95.35% (平成24年度)	95.2% (平成25年度)	95.7%
1-3-2 高齢者が地域 で包括的なケ アを受け、安 心して暮らせ るまちをつ くりま す	23	居宅サービス利用者のうちケアプランに満足 している人の割合(%)	65.9% (平成19年度)	70.0% (平成25年度)	29年度 調査予定	75%
	24	介護保険施設等の入所定員数(人)	2,160人 (平成21.4.1)	2,646人 (平成26.2.1)	2,685人 (平成26.4.1)	3,300人
	25	【新規】 さわやかサポート(地域包括支援センター)を 知っている区民の割合(%)	19.1% (平成20年度)	29.1% (平成24年度)	37.7% (平成26年度)	40%
1-3-3 いざという ときに高齢者 を支える体制 をつくりま す	26	成年後見制度を知っている区民の割合(%)	—	27.4% (平成24年度)	34.1% (平成26年度)	36%
	27	【新規】 災害時要援護者である高齢者を支援する組 織が設置されている自治会・町会の割合(%)	39% (平成20年度)	44% (平成25年度)	45%	50%

基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

施策	No.	モノサシ (指標)	未来プラン 策定時の 「現状」	25年度時点 最新値	26年度	30年度
					最新値	目標値
2-1-1 魅力と個性あ ふれる都市を つくります	28	住んでいるまちが魅力的であると感じる区民の割合 (%)	—	58.5% (平成25年度)	64.6% (平成26年度)	64%
	29	【新規】 区内人口の社会増減率 (‰)	0‰	8.66‰ (平成25.1.1)	15.58‰	18‰
2-1-2 快適な交通 ネットワーク をつくります	30	【新規】 区内の通勤・通学の便に満足している区民の割合 (%)	76.7% (平成20年度)	75.7% (平成24年度)	73.1% (平成26年度)	80%
	31	【新規】 放置自転車台数 (台)	2,552台 (平成19年度)	2,436台 (平成24年度)	1,762台 (平成25年度)	2,280台
2-1-3 潤いとやすら ぎのあるまち をつくります	32	身近な場所で水や緑に親しめると思う区民の割合 (%)	—	53.8% (平成24年度)	52.3% (平成26年度)	60%
	33	公園の新設、拡張整備面積累計 (ha)	0ha (平成20年度)	8.16ha (平成25年度)	8.16ha	13.2ha
2-1-4 安全で安心し て暮らせるま ちをつくりま す	34	【新規】 東京都防災都市づくり推進計画の整備地域における平均不燃領域率 (%)	大森中地域 52% 羽田地域 — 西蒲田地域 52% (平成16年度)	大森中地域 64% 羽田地域 45% 西蒲田地域 60% (平成22年度)	26年度未調査	大森中地域 70%超 羽田地域 60%超 西蒲田地域 70%超
	35	【新規】 大田区内の耐震化率 (%)	75.6% (平成18年度)	79.2% (平成21年度)	26年度末に 最新値更新予定	90%超
	36	駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じる区民の割合 (%)	—	32.3% (平成25年度)	45.9% (平成26年度)	40%
2-2-1 世界へ羽ばた くまちをつく ります	37	【新規】 羽田空港及び空港跡地が、地域経済の発展に貢献すると感じる区民の割合 (%)	—	49% (平成25年度)	52% (平成26年度)	55%
	38	【新規】 羽田空港跡地第1ゾーンの整備進捗率 (%)	—	20% (平成25年度)	26年度末に 最新値更新予定	80%
2-2-2 未来につな がる空港臨海 部をつくりま す	39	臨海部(平和島・昭和島・京浜島・東海・城南島・羽田空港)に立地する事業所数 (社)	1,622社 (平成16年度) 参考数値※	2,154社 (平成23年度) 1,886社 (平成18年度) 参考数値※	28年度に最新値 更新予定(経済セ ンサス)	2,300社
	40	空港臨海部が身近になったと感じる区民の割合 (%)	—	35% (平成24年度)	26% (平成26年度)	40%
2-2-3 国際都市とし て交流を育み ます	41	【新規】 国際交流団体の登録数 (団体)	30団体 (平成21年度)	45団体 (平成24年度)	51団体 (平成26年11月)	78団体
	42	【新規】 大田区の外国人延べ宿泊者数 (人)	7.7万人 (平成21年度)	7.5万人 (平成24年度)	11.9万人 (平成25年度)	15万人
2-3-1 ものづくり産 業を育み、世 界に発信しま す	43	【新規】 製造品出荷額等 (億円)	7,829 億円 (平成19年)	4,796 億円 (平成24年)	26年度未調査	5,000 億円
	44	新製品・新技術開発助成(実用化・製品化助成)を受けた企業のうち、展示会出展または取引につながった企業の割合 (%)	—	66.6% (平成23年度) 参考数値※	26年度未調査	100%

※参考数値は、「事業所・企業統計調査」の数値です。平成23年度数値は経済センサス調査の数値です。事業所・企業統計調査は、平成21年から経済センサス調査に統合されました。その調査対象は同じですが、調査手法が異なっており、同一のデータとして単純に比較することができないため、経済センサス基礎調査のデータを新たな指標とします。

※助成を受けた企業からの状況報告は、助成した年度の2年後から3年間にわたり実施しています。製品化助成は23年度から実施しているため、平成26、27年度の状況報告によっては数値が変動する可能性があります。

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン 策定時の 「現状」	25年度時点 最新値	26年度	30年度
					最新値	目標値
2-3-2 くらしを支える あきないを 熱く盛り上げ ます	45	【新規】 区内小売業の年間商品販売額(億円)	—	5,003億円 (平成23年度)	26年度未調査	5,230億円
	46	【新規】 大田区内の従業者数(人)	—	334,046人 (平成23年度)	26年度未調査	361,000人
2-3-3 ビジネスがし やすいまち大 田区をつくり ます	47	【新規】 新設事業所数(累計)(事業所)	578 事業所 (平成21年)	1,764 事業所 (平成23年)	26年度未調査	6,180 事業所
	48	大田観光協会ホームページの年間アクセス数(件)	49.6万件 (平成19年度)	619.6万件 (平成24年度)	800万件 (平成25年度)	885万件
2-3-4 大田区の観光 を世界に発信 します	49	【新規】 区内宿泊施設の宿泊者数(人) (上段:延べ宿泊者数、下段:そのうち外国人)	109.5万人 7.7万人 (平成21年度)	115.9万人 7.5万人 (平成24年度)	108.5万人 11.9万人 (平成25年度)	130万人 15万人

基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン 策定時の 「現状」	25年度時点 最新値	26年度	30年度
					最新値	目標値
3-1-1 地域力の土台 づくりを進め ます	50	「自治会・町会の会合など地域活動に参加したことがある」と答えた区民の割合(%)	—	72.3% (平成24年度)	65.6% (平成26年度)	75%
	51	大田区民活動情報サイト登録数(団体) ※参考数値は、大田区民活動情報サイトを開設する前の大田区民活動団体データベース登録数(団体)です。	535団体 (平成19年度) 参考数値※	426団体 (平成24年度)	510団体 (平成26.11.30)	590団体
	52	【新規】 大田区民活動情報サイトへのアクセス件数(件)	—	24,389件 (平成24年度)	21,803件 (4~11月)	36,580件
3-1-2 地域力を活か した取り組み を進めます	53	自治会・町会や団体・NPOが、区の取り組みにより他の団体等と連携して実施した事業数(事業)	—	93事業 (平成24年度)	103事業 (平成26.11.30)	150事業
	54	【新規】 自治会・町会への加入率(%)	75.4% (平成20年度)	74.6% (平成25年度)	73.1%	76%
3-1-3 誰もが暮らし やすい地域を つくります	55	ボランティア活動に参加している区民の割合(%)	8.9% (平成18年度)	9.1% (平成24年度)	14.9%※ (平成26年度)	10%
	56	【新規】 現在住んでいるまちが「暮らしやすいと感じている」と回答した区民の割合(%)	76.8% (平成19年度)	81.9% (平成25年度)	75.5% (平成26年度)	87%
3-1-4 地域文化の創 造とふれあい づくりを進め ます	57	大田区の主な文化関連施設の利用・入館者数(延べ、万人)	144万人 (平成19年度)	162万人 (平成24年度)	155万人 (平成25年度)	174万人
	58	大田区文化祭、文化センターまつり、区民ギャラリーに出場・出品した人数(延べ、人)	3,203人 (平成20年度)	12,657人 (平成25年10月)	15,098人 (文化センター出 場・出品者数) (平成26.11.30)	13,600人
3-1-5 地域力を活か し、災害に強 いまちづくり を進めます	59	防災市民組織が設置されている自治会・町会の割合(%)	97.6% (平成20年度)	98.6% (平成25年度)	99%	100%
	60	【新規】 学校防災活動拠点校整備数(校)	—	20校 (平成25年度)	60校	91校

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン 策定時の 「現状」	25年度時点 最新値	26年度	30年度
					最新値	目標値
3-1-6 地域力を活かし、防犯に強いまちづくりを進めます	61	地域安全・安心パトロール助成団体数(団体)	226団体 (平成20年度)	270団体 (平成25年度)	278団体 (平成26.9末)	315団体
	62	【新規】 街頭防犯カメラ整備数(地区、台)	—	13地区 190台 (平成24年度)	18地区 278台 (平成25年度)	30地区 600台
	63	【新規】 区民安全安心メール登録者数(人)	30,499人 (平成21年度)	50,018人 (平成25年度)	55,318人 (平成26.11.1)	60,000人
3-2-1 地球環境をみんなで守り未来へ引き継ぎます	64	大田区の二酸化炭素排出量(千t/年) 〔基準年・平成2年度2,869千t/年〕	3,172千t /年 (平成20年度) 〔基準年・平成2年度比 +10.6%〕	2,935千t /年 (平成22年度) 〔平成2年度比 +2.3%〕	3,153千t /年 (平成23年度)	2,322千t /年 〔平成2年度比・ 19.1%〕
	65	【新規】 大田区のエネルギー消費量(TJ/年) 〔基準年・平成2年度37,208TJ/年〕	37,506TJ/年 (平成20年度) 〔平成2年度比 +0.8%〕	36,060TJ/年 (平成22年度) 〔平成2年度比 -3.1%〕	35,062TJ/年 (平成23年度)	31,799TJ/年 〔平成2年度比 -14.5%〕
	66	太陽光発電設置実績件数(件)	249件 (平成6～16年度)	1,837件 (平成24年度)	2,217件 (平成25年度)	3,000件
3-2-2 水と緑を感じるまちをつくりまします	67	「緑の多さに満足している」と答えた区民の割合(%)	54.4% (平成20年度)	57.5% (平成24年度)	53.8% (平成26年度)	63%
	68	緑被率(%)	20.3% (平成9年度)	20.47% (平成21年度)	26年度未調査	20.9%
	69	呑川のBOD (生物化学的酸素要求量)(mg/L)	島畑橋 1.1mg/L 谷築橋 1.3mg/L 旭橋 1.3mg/L (平成20年度)	島畑橋 1.2mg/L 谷築橋 1.5m/L 旭橋 2.7mg/L (平成24年度)	島畑橋 0.6mg/L 谷築橋 1.2m/L 旭橋 2.7mg/L (平成26.6)	環境基準 8mg/L以下
3-2-3 ごみのない循環のまちをつくりまします	70	区収集ごみ量(千t)〔清掃事業が区に移管された平成12年度を基準年度:174,748t〕	15万4千t (平成19年度)	14万t (平成24年度)	13.8万t (平成25年度)	12万2千t (平成12年度比・ 30%)
	71	リサイクル率(%)	18.5% (平成19年度)	19.5% (平成24年度)	20.5% (平成25年度)	30%
3-3-1 行政力を最大限に発揮できる体制をつくりまします	72	基本計画で設定したモノサシ(指標)の目標に到達した割合(%) *()内は、平成25年度の目標値と、未来プラン策定時の「現状」を比較し、最新値が8割を達成しているモノサシ指標の割合です。	—	36% (51%※) (平成25年度における最新値)	—	100%
	73	【新規】 経常収支比率(%)	75% (平成20年度)	85.8% (平成24年度)	83.3% (平成25年度)	80%台
3-3-2 透明性が高く、区民の多様な意見を活かす区役所をつくりまします	74	「区政情報が適切に公開されている」と答えた区民の割合(%)	—	29% (平成24年度)	31% (平成26年度)	46%
3-3-3 地域力を支える区役所をつくりまします	75	【新規】 地域活動にインターネットを利用している自治会・町会の割合(%)	—	30.9% (平成25年12月)	30.9% (平成26年12月)	50%
	76	【新規】 地域力推進委員会分科会の開催回数(回)	55回 (参考:平成23年度)	78回 (平成24年度)	67回 (平成25年度)	125回